

長崎県における食中毒病因物質の概要 (2023年度)

右田 雄二, 山口 結奈, 井原 基, 松本 文昭, 高木 由美香, 吉川 亮

Prevalence and Etiological Agents of Food Poisoning in Nagasaki Prefecture (2023)

Yuji MIGITA, Yuina YAMAGUCHI, Motoki IHARA, Fumiaki MATSUMOTO, Yumika TAKAKI and Akira YOSHIKAWA

キーワード：食中毒、カンピロバクター属菌、ノロウイルス、クドア・セプテンブクタータ、アニサキス
Key words : Food poisoning, *Campylobacter spp.*, *Norovirus*, *Kudoa septempunctata*, *Anisakis simplex*

はじめに

1997年5月30日の食品衛生法施行規則改正でノロウイルス (2003年8月29日同規則改正で小型球形ウイルスから名称変更) 及びその他のウイルスと腸管出血性大腸菌 (VT産生) が、1999年12月28日には同規則改正によりコレラ菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌が、2012年12月28日にはクドア・セプテンブクタータ (以下、クドア)、ザルコシスティス、アニサキス及びその他の寄生虫が食中毒事件票に病因物質として追加された。これらの施行規則改正により、ウイルス性食中毒が位置づけられるとともに、コレラ菌等の4菌種についても飲食に起因する健康被害発生時は、他の食中毒病因物質と同じ措置がとられるようになった。当センターでは保健所との協力体制の下、ノロウイルス及び細菌学的検査を同時に実施している。

本報告では、2023年度に発生した本県食中毒事例で検出された病因物質について報告する。

調査方法

長崎県生活衛生課が取りまとめた2023年度の食中毒発生状況 (長崎市及び佐世保市の発生届出分を含む) より、主要病因物質 (細菌、ウイルス、寄生虫、自然毒及び化学物質等) ごとに事件数及び患者数を集計した。

結果及び考察

長崎県内では食中毒が15件発生した。発生事例の内訳を表1に示す。

1 細菌性食中毒

長崎市及び大村市においてカンピロバクター属菌による食中毒が3件発生した (事例: 1、7、8)。

事例1: 長崎市の飲食店において提供された白レバー刺し、鶏ハツ刺し等を喫食した6名のうち3名が腹痛、下痢等の症状を呈し、3名すべてからカンピロバクター属菌が検出された。

事例7: 大村市の飲食店において提供された食事を喫食した2グループ18名中14名が下痢、頭痛、発熱等を呈し、このうち5名からカンピロバクター・ジェジュニを検出した。

事例8: 長崎市の飲食店において提供された食事 (鳥刺し、唐揚げ、ピザ等) を喫食した2グループ5名が腹痛、下痢等の症状を呈し、このうち4名からカンピロバクター属菌が検出された。

2 ウイルス性食中毒

ノロウイルスによる食中毒は4件発生した (事例: 9、11、12、15)。

事例9: 大村市の飲食店において提供された食事を喫食した5グループ87名中54名が下痢、嘔吐、発熱等の症状を呈した。調査の結果、喫食者52名のうち26名とトイレ水洗レバーからノロウイルスG II 遺伝子を検出した。そのうち24名はG II .4型であった。残り2名とトイレ水洗レバーからは遺伝子量が少なく型別不能であった。従事者20名からノロウイルス遺伝子は検出されなかった。

事例11:諫早市の飲食店において4グループ22名中17名が下痢、嘔吐、発熱等の症状を呈した。調査の結果、喫食者は5名中2名、従事者は9名中3名からノロウイルスG II.2型遺伝子を検出した。

事例12:長崎市の飲食店において1グループ6名が嘔吐、下痢等の症状を呈した。調査の結果、患者及び調理従事者の便からノロウイルスが検出された。当所においては長崎市の関連事例として対応し、喫食者4名中3名からノロウイルスG II.17型遺伝子を検出した。

事例15:諫早市の飲食店において6グループ23名が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈した。調査の結果、患者及び調理従事者の便からノロウイルスが検出された。当所においては喫食者12名中7名、従事者15名中2名からノロウイルスG II遺伝子を検出した。喫食者6名と従事者1名はG II.2型遺伝子であったが、喫食者1名と従事者1名は遺伝子量が少なく型別不能であった。

3 寄生虫性食中毒

クドアによる食中毒は4件発生した(事例:4、5、6、14)。

事例4:南島原市の飲食店においてヒラメの刺身を喫食した25名中13名が嘔吐、下痢症状を呈した。調査の結果、有症者1名の便からクドアの孢子遺伝子を検出した。

事例5:島原市の飲食店から配達されたヒラメの刺

身含む(推定)ちらし寿司を喫食した7名中5名が嘔吐、下痢症状を呈した。調査の結果、有症者3名中2名の便からクドアの孢子遺伝子を検出した。

事例6:佐世保市の飲食店においてヒラメを含む刺身(推定)を喫食した54名中9名が腹痛、嘔吐等の症状を呈した。調査の結果、有症者8名中5名の便からクドアの孢子遺伝子が検出された。

事例14:諫早市の飲食店においてヒラメの刺身(推定)を喫食した21名中18名が吐き気、嘔吐、下痢、悪寒等の症状を呈した。調査の結果、有症者1名の便からクドアの孢子遺伝子が検出された。

アニサキスによる食中毒は4件発生した(事例:2、3、10、13)。事例13以外は原因食品の特定に至らなかったが、魚介類の生食が確認された。いずれの事例も医療機関でアニサキスが確認された。

4 自然毒による食中毒

発生はなかった。

5 化学物質による食中毒

発生はなかった。

謝 辞

本調査を遂行するにあたり、種々の情報を提供していただいた長崎県生活衛生課、長崎市保健環境試験所、長崎市保健所、佐世保市保健所及び長崎県立各保健所の関係各位に深謝する。

表1 長崎県内の食中毒発生状況及び病因物質(2023年4月～2024年3月)

事例 No.	発生年月日	発生場所	罹患患者数	原因施設	摂食場所	原因食品	病因物質	検出/体数	検体	備考
1	2023/3/28	長崎市	6	飲食店	飲食店	飲食店が提供した食事 (白レバー刺し、鶏ハン刺し等を喫食)	<i>Campylobacter</i> spp.	2 / 3	喫食者便	
2	2023/4/5	長崎市	1	家庭	家庭	不明 (イワシ、鯛、キビナゴを喫食)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者からアニサキスを摘出
3	2023/5/22	佐世保市	10	事業場	事業場	不明 (アジ、イカ、サバを喫食)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者からアニサキスを摘出
4	2023/7/30	南島原市	25	飲食店	飲食店	ヒラメの刺身	<i>Kudoa septempunctata</i>	1 / 1	喫食者便	
5	2023/8/4	島原市	7	飲食店	事業所	ちらし寿司(ヒラメ刺身含む)	<i>Kudoa septempunctata</i>	2 / 3	有症者便	
6	2023/8/6	佐世保市	54	飲食店	飲食店	刺身(ヒラメ含む)[推定]	<i>Kudoa septempunctata</i>		喫食者便	
7	2023/9/30	大村市	18	飲食店	飲食店	9/28-29に飲食店が提供した食事	<i>Campylobacter</i> spp.	5 / 18 0 / 4	喫食者便 従事者便	<i>C. jejuni</i> (4)、 <i>C. coli</i> (1)
8	2023/11/12	長崎市	5	飲食店	飲食店	11/9、12に飲食店が提供した食事 (鳥刺し、唐揚げ、ピザ等を喫食)	<i>Campylobacter</i> spp.		喫食者便	
9	2023/12/23	大村市	87	飲食店	飲食店	12/22-23飲食店が提供した食事	Norovirus	26 / 52 0 / 20 1 / 6	喫食者便 従事者便 ふき取り	G II.4 G II
10	2023/12/28	長崎市	不明	飲食店	飲食店	不明 (刺し盛り、サバのしゃぶしゃぶ等を喫食)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者からアニサキスを摘出
11	2024/1/2	諫早市	22	飲食店	飲食店	12/31-1/1に飲食店が提供した食事	Norovirus	2 / 5 3 / 9 0 / 6	喫食者便 従事者便 ふき取り	G II.2 G II.2
12	2024/1/30	長崎市	6	飲食店	飲食店	1/28に飲食店が提供した食事	Norovirus	3 / 4	喫食者便	G II.17 ※長崎市関連調査
13	2024/2/21	大村市	1	魚介類 販売業	家庭	2/20に販売された生食用鮮魚介類 (イワシの刺身)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者からアニサキスを摘出
14	2024/3/21	諫早市	21	飲食店	飲食店	3/21に飲食店が提供した食事 ヒラメ刺身[推定]	<i>Kudoa septempunctata</i>	1 / 8	喫食者便	
15	2024/3/30	諫早市	110	飲食店	飲食店	3/29-31に飲食店が提供した食事	Norovirus	7 / 12 2 / 15	喫食者便 従事者便	G II.2 G II.2

※ 本表は、県民生活部生活衛生課の食中毒発生状況一覧表(長崎市、佐世保市発生分含む)から作成した。
 ※※ 病因物質の検出数は、環境保健研究センター保健科対応事例のみとした。